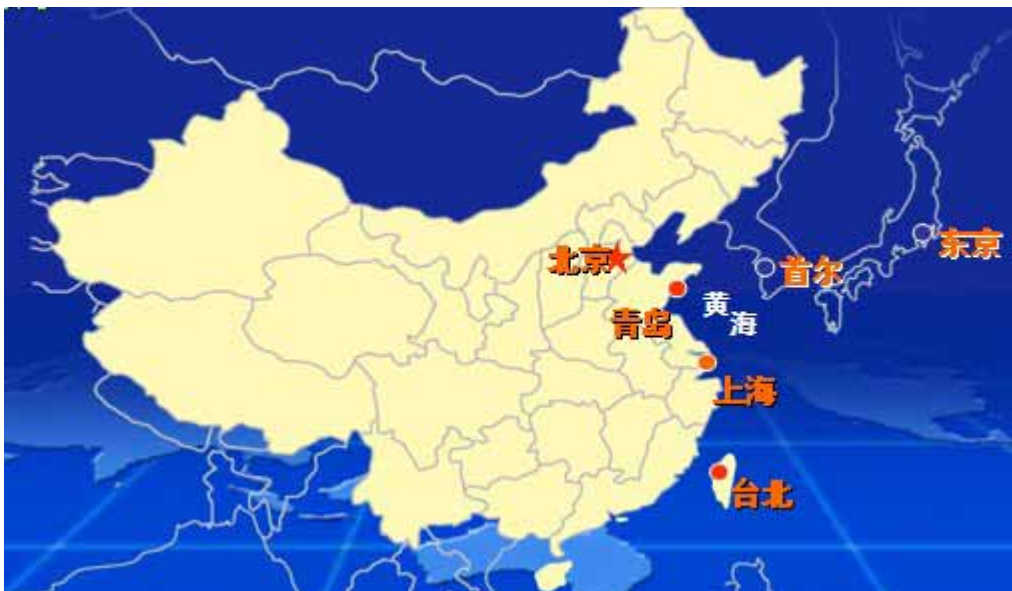


## 青島市の投資環境について

青島市招商促進局（企業誘致局）より、青島市の投資環境紹介として以下を入手しましたので、掲載し皆様のご参考に供します。

青島市は中国東部の重要な海港都市であり、中国経済の中心的都市、中国初の沿海開放都市の一つであり、また国家計画単列都市（政令指定都市）、副省級都市、中国の海洋科学研究の中心地でもあります。同時に中国のヨットの都、アジアで最もすぐれた航海都市として、2008年第29回北京オリンピック・第13回パラリンピックのヨット競技がここで行われました。更にすぐれた観光都市である他、有名な歴史・文化都市、全国文明都市、国家衛生都市、国家ガーデンシティ、国家節水型都市、国家環境保全モデル都市、全国緑化モデル都市にも認定されています。更に世界銀行によって投資環境「金メダル都市」に選ばれたほか、中国の海拔0メートル地点（中国水準原点）にもなっています。



### 1. 青島概況

**位置:** 青島市は山東半島の南端(北緯 35°35′ ~ 37°09′、東経 119°30′ ~ 121°00′) 黄海の浜辺にあり、東に海をへだてて韓国と日本と向き合っています。

**総面積:** 青島市の総面積は 10,654 平方キロメートルで、内、市街地の面積は 1,159 平方キロメートルです。

**総人口:** 常住人口は 845 万 6,100 人、戸籍人口は 761 万 5,600 人。内、中心市街地の常住人口は 347 万 4,500 人、戸籍人口は 276 万 2,500 人です。

**行政区画:** 現在、市南、市北、四方、李滄、嶗山、黄島、城陽という 7 つの区と膠南、膠州、即墨、平度、萊西という 5 つの県クラスの市があります。

## 2. 経済発展

改革開放後の30年間を通じて、青島は港湾都市、開放都市、ブランド都市、観光都市、海洋技術都市、オリンピック都市としての鮮明な特色を形成してきました。「第11次5ヵ年計画（2005～2010年）期間には、豊かな文化をもつ調和の取れた現代的国際都市の建設を目指し、「周辺の湾を保全し、湾を抱いて発展する」という戦略の実施に力を入れ、先進的な製造業基地、ハイテク産業基地、現代的サービス業基地、地域経済の中心、北東アジア国際海運センター、国家海洋研究センターの建設に努め、社会経済の安定した素早い発展速度を維持してきました。

青島の経済総生産は中国大陸の都市のなかでもトップ10に入ります。2010年の青島の総生産額は5,666億元、地方財政の一般予算収入は452億元となり、5年間の平均伸び率はそれぞれ13.8%、20.8%を記録しました。この5年間で固定資産投資額は1兆元を超え、「第11次5ヵ年計画（2001～2005年）」期の3倍にもなりました。5つの県クラスの市がすべて全国総合実力トップ100県の中に入りました。

## 3. 交通便利

青島市は中国の総合交通ジャンクションです。国家の「五縦五横」総合運輸大ルート上にあり、南北沿海運輸大ルートと青島からラサまでの東西運輸大通路沿いに位置し、国際地域運輸ルートにあっては南アジア国際運輸ルート上に位置しています。



海港	青島市は世界の港トップ10の一つ、2010年、青島港の貨物取扱量は3.57億トン、コンテナ取扱量は1201万TEUに達し、鉱石輸送量、原油輸送量ともに中国一である。
空港	東京、大阪、福岡、名古屋、ソウル及び香港、台湾等12本の国際（地域）直航空路、北京、上海、広州など国内主要都市への96路線があるほか、北京、上海、香港、東京、ソウル等5大国際空港を通じて世界の主要都市とつながっている。
鉄道	鉄道コンテナ詰め替えジャンクションを備える。
高速道路	高速道路は12本あり、その総距離は703km、これは全国と同種の都市の中で上位に位置しており、市内は概ね「1時間経済圏」をなしている。

ネット ワーク	青島は中国北方にある唯一の国際海底ケーブル上陸都市であり、現在、中米・中日・中韓の海底ケーブルが開通している。
------------	---

#### 4．人材豊富

大学	各種大学 28 校、在校生 26.9 万人
専門学 校等	中等学校や専門学校 98 校、在校生 18.7 万人、毎年卒業生 7 万人以上
研究機関	中国科学院、中国工程院の会員 51 名、重点実験室 102 室、国家級企業技術センター 13 ヲ所
海洋研究	中国著名海洋科学技術都市として全国の半分近くの海洋科学研究機関が集中。海洋分野のアカデミー会員数は全国の 80% を占める

#### 5．住みやすい都市

中国の住みやすい都市ベスト 10 の 1 つとして、2004 に年国際連合人間居住計画 (UN-HABITAT) の認定を受けている。また 2010 年時点で星つきホテルが 160 軒あり、なかでも 5 つ星ホテルは 10 軒、4 つ星ホテルは 30 軒あり、国内外の観光客を延べ 4500 万人受け入れ、内、海外からの観光客は延べ 108 万人となっています。中国 10 大観光目的地の一つとして、中国の青年達が最も愛する観光都市、中国の最もアクティブなレジャー都市にも選ばれました。オリンピックヨットセンターは国内で唯一の「国家臨海観光レジャーモデル地区」となり、また「青島国際ビール祭り」は中国 10 大祭りのトップとしてその名が挙げられます。

#### 6．対外協力

青島は中国初の 14 カ所の沿岸開放都市の一つであり、17 カ国 19 都市と友好都市の関係、19 カ国 37 都市と友好提携都市の関係を結んでいます。2000 年あまりの海外商社や企業、金融機構が青島に常設の事務機構を設けています。2010 年、対外輸出入総額は 561.5 億ドル、輸出額は 333.5 億ドルに達し、外資の実際投資額は 28.4 億ドルにのぼり、94 の世界トップ 500 社が青島で 189 のプロジェクトに投資しています。5 年間の国外への投資プロジェクトは累計 357 項目で、投資額は 10.8 億ドルにおよび、「第 11 次 5 カ年計画」と比べプロジェクト数で 2.1 倍、投資額で 5.1 倍となっています。パキスタン・ハイアール 魯巴経済区は中国初の国外経済貿易協力地域です。

青島は公平な市場秩序とすぐれた社会治安、快適な生活条件、効率的な行政サービス、完備した基礎設備、人身や財産への安全保障など、素晴らしい安定した投資環境を備え、中国で最も経済的活力をもつ都市、中国の最も優れた商業都市、国際企業にとって最も投資価値がある都市などに選ばれ、世界銀行によって、中国の投資環境「金メダル」都市に選出されました。

## 7. 主導産業

「周辺の湾を保全し、湾を抱いて発展する」という戦略が、都市の未来を創造します。全市の重点産業は膠州湾を取り巻き新たに配置し直されます。膠州湾東岸では、古い工業企業の移転や改造が実施され、現代的サービス業の発展のための空間が作り出されます。膠州湾北岸ではハイテク新区建設が予定されており、ハイテク技術産業を重点的に発展させます。膠州湾西岸では港湾の利点を活かし、石油化学などの臨海産業の発展に重点が置かれます。同時に「三つの基地、三つの中心」を中心に、ハイテク産業、先端製造業、現代サービス業、現代農業、省エネ・エコ産業の発展に力を入れており、工業主導産業、戦略的な新興産業、現代サービス業などを重点領域として外資の投資が奨励されています。

## 8. 重点産業団地

以下の重点産業団地があります。青島経済技術開発区、青島ハイテク産業開発区、青島前湾保税港区、青島港董家口港区、青島輸出加工区、青島西海岸輸出加工区、青島ソフトウェアパーク、青島海峡兩岸農業協力テスト地区

## 9. 青島の日本との関係など

### (1) 青島と日本との間の経済貿易提携は30余年前に始まり、多数の「最初」を保持。

山東省最初の海外姉妹都市（青島市と下関市）、山東省最初の国際航路（青島市と大阪市）、最初の外資金融機構（山口銀行青島支店）、最初の補償貿易（青島第一メリヤス工場と日本の伊藤万株式会社）



1979年10月3日には青島市は日中国交回復後の山東省最初の姉妹都市関係を山口県下関市との間で締結し、それ以降、政治、経済、文化、教育、体育、医療などの面において他方面にわたる交流・協力をを行い、2009年には友好関係締結30周年式典が行われました。

### (2) 青島と日本との全面的な連携はハイスピードで発展された

主要なところとして、日本国駐青島総領事館開館、日本貿易振興機構青島事務所開設、青島日本人学校開校、瑞穂銀行青島支店設立、三菱東京UFJ銀行青島支店設立などがあり、またハイレベルな相互訪問が常態化・固定化しています。

### (3) 経済協力データ

これまでに青島市に進出した日系企業のプロジェクトは累計 1783 件、契約ベース 42.2 億米ドル、実際利用ベース 32 億米ドル。日本は青島にとっての第 3 番目の主要外国投資国となっています。2010 年には青島と日本の貿易額は 75 億米ドルに達し、日本は青島の 2 番目の貿易パートナーとなりました。

#### 連絡先

青島市招商促進局（企業誘致局） <http://www.qingdao-invest.gov.cn/>

（担当）呂 光輝（日本語可）E-mail: Lghqd@hotmail.com

電話番号:0532-8502-6253、携帯電話:138-5328-0759

上海事務所所長 後藤雅彦